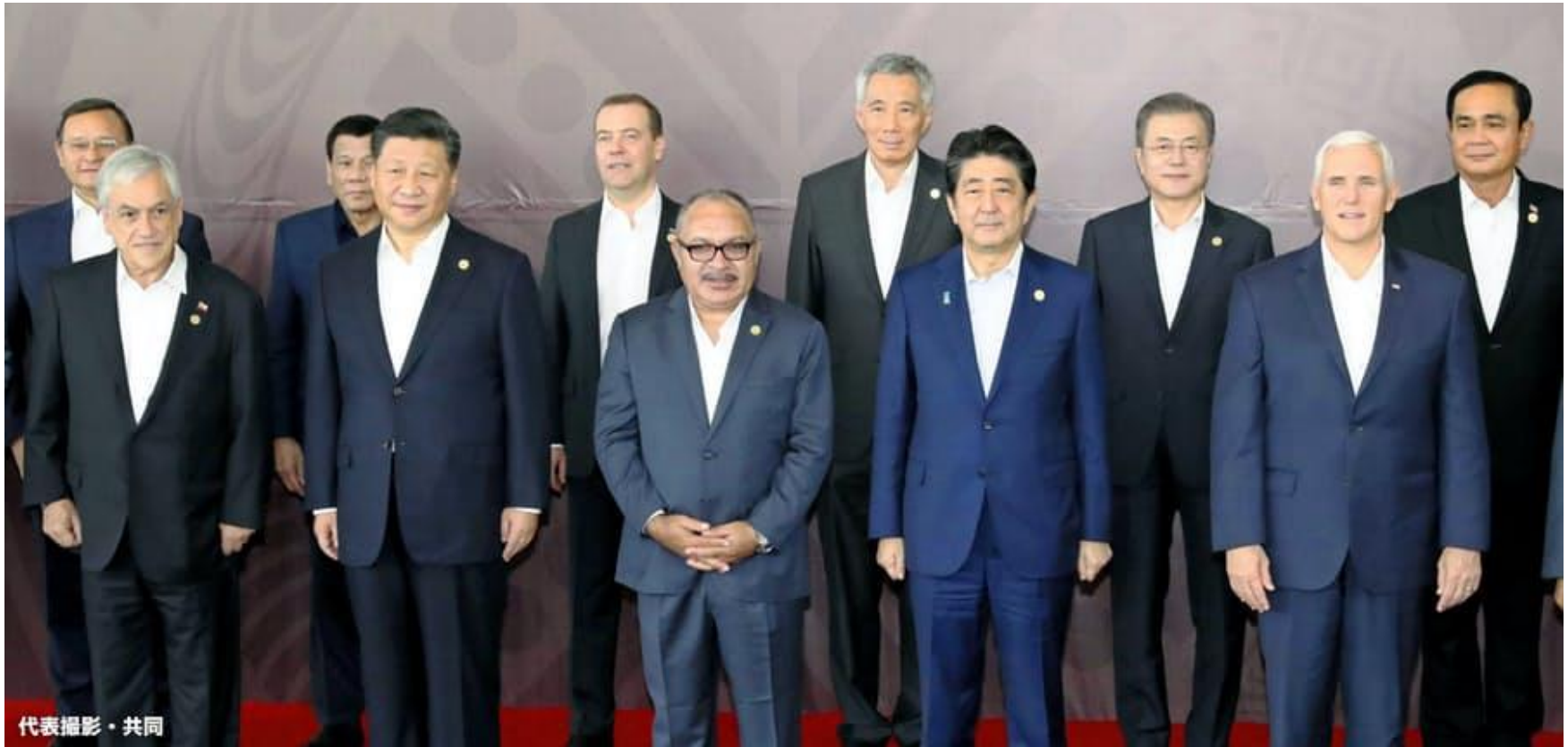


# PNGビジネスにおける日本の役割



**Covid-19後のパプアニューギニアの現状とビジネス・投資課題について**  
**2020年7月17日（金） 14：00～15：00**  
**黒崎岳大（東海大学）**



## 本日の流れ

- 1. COVID-19と太平洋諸島
- 2. PNGの基本情報
- 3. データから見た近年のPNG貿易の特徴
- 4. データからみた日PNG貿易の特徴
- 5. 日PNGビジネスの新たな促進への可能性

# 1. COVID-19と太平洋諸島

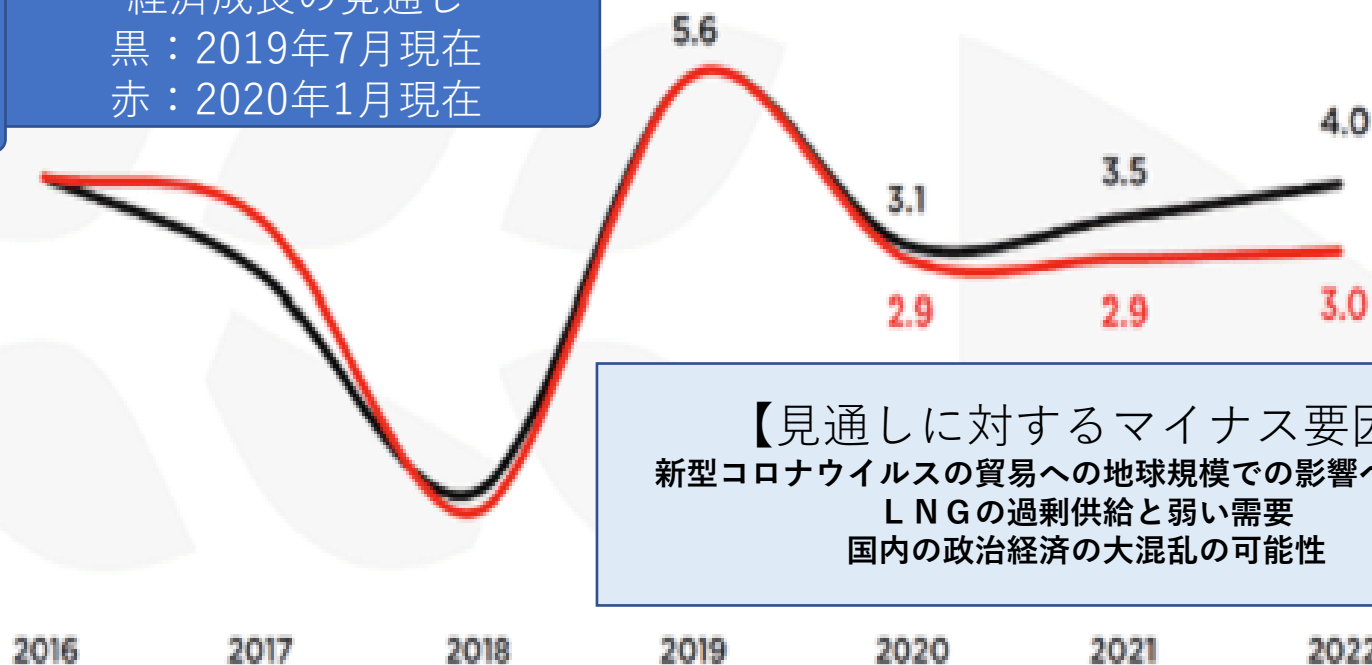


# PNGの経済成長とCOVID-19の関係：不確実性

## Papua New Guinea Economic Update Facing Economic Headwinds

JANUARY 2020

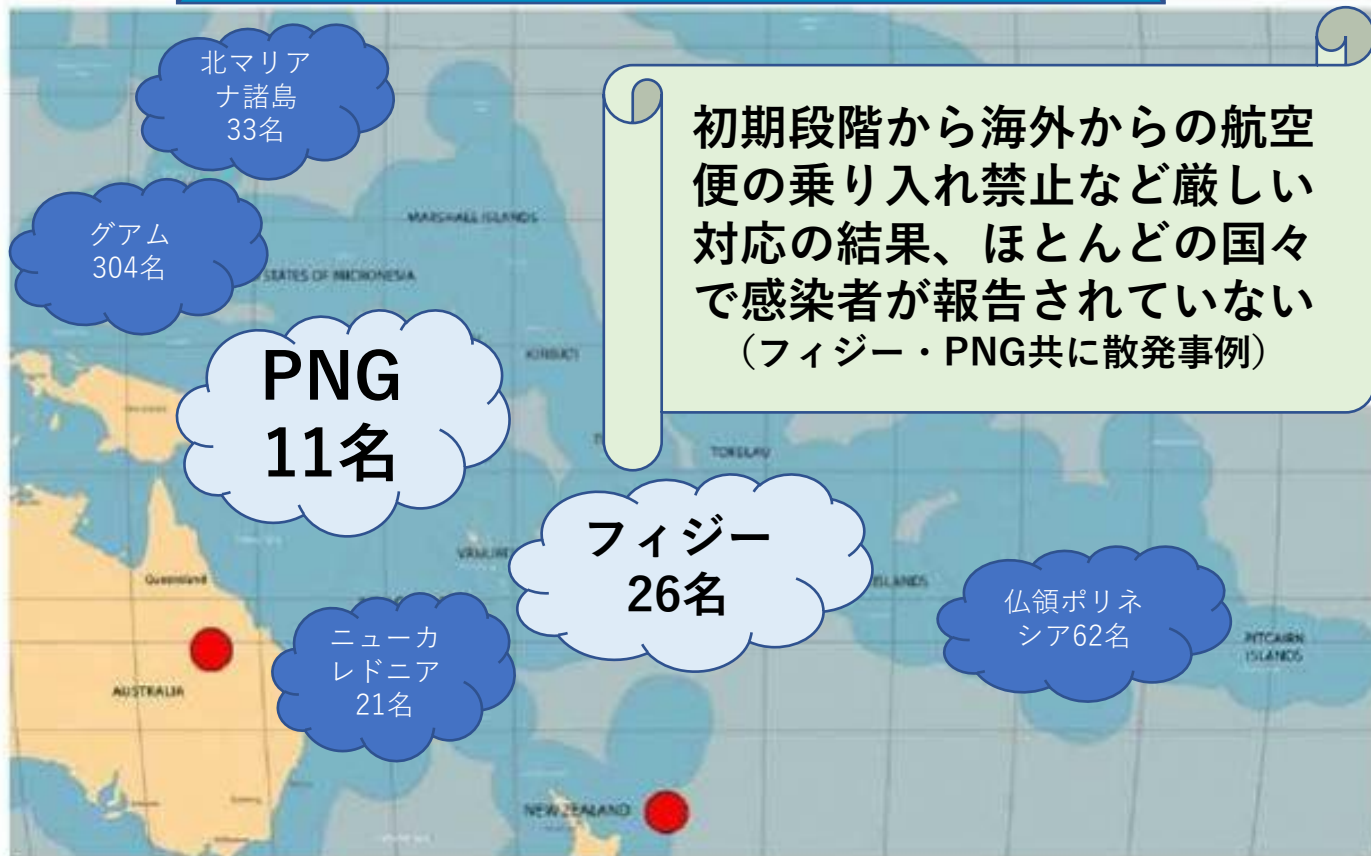
経済成長の見通し  
黒：2019年7月現在  
赤：2020年1月現在



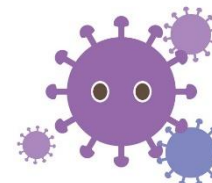
【見通しに対するマイナス要因】  
新型コロナウイルスの貿易への地球規模での影響への確実性  
LNGの過剰供給と弱い需要  
国内の政治経済の大混乱の可能性

# 感染者を水際で防いだ太平洋諸島

太平洋諸島地域の感染者数 (2020/07/15)



太平洋諸島の国々が持つ歴史的トラウマ

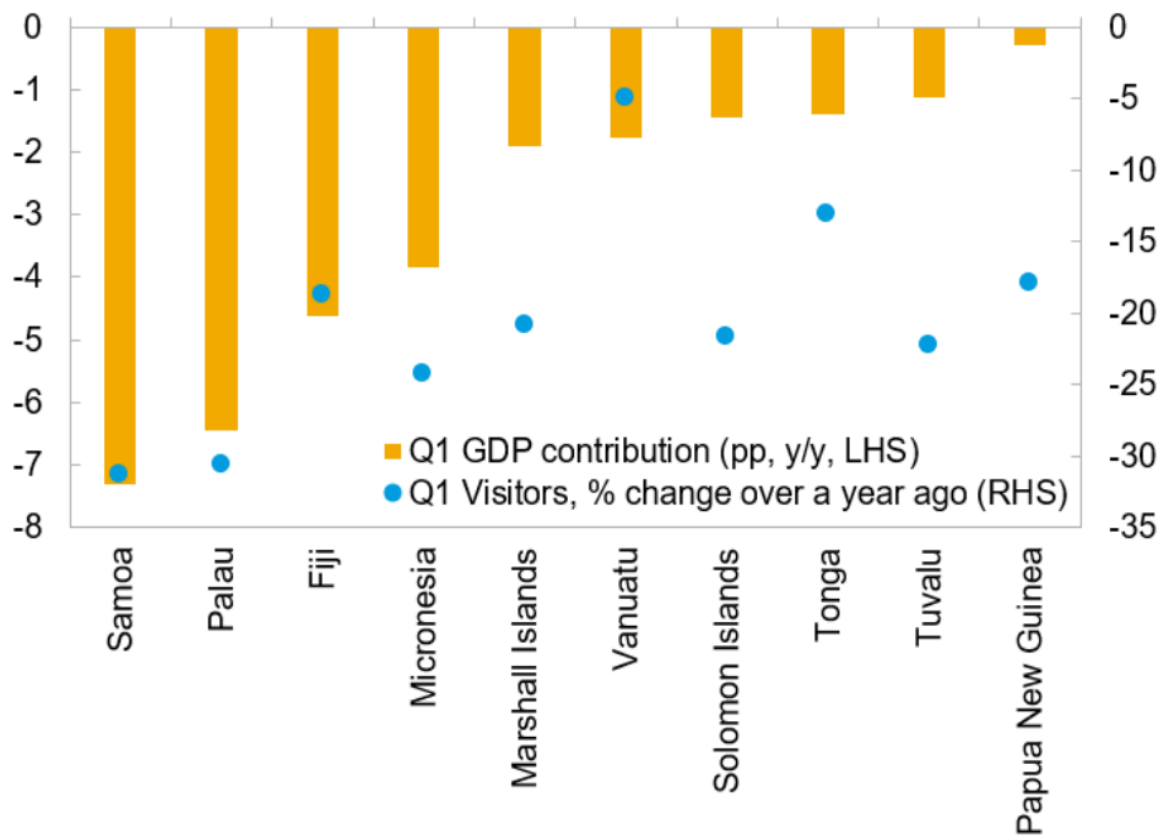


外国からの感染症侵入により島々の社会が崩壊した暗い過去  
⇒スペイン風邪の影響で崩壊したハワイ王国など

国を閉じることにより経済活動がストップ

## 観光業に依存する島嶼国経済に大打撃だが。。

Tourism estimates for 2020Q1

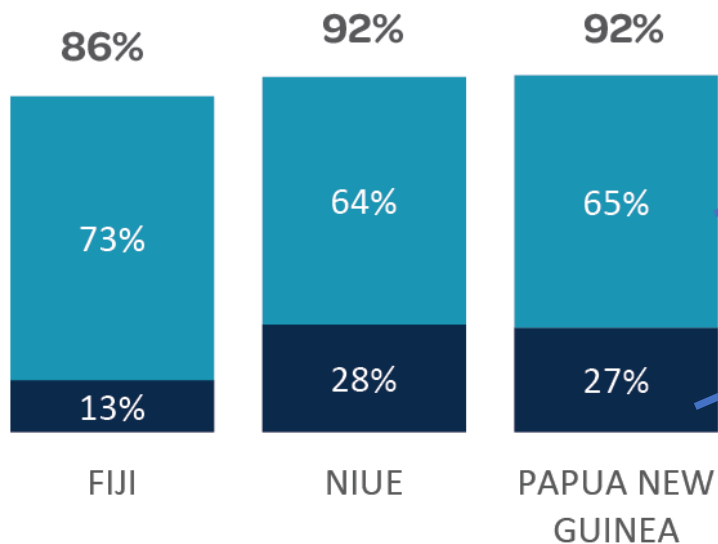


航空会社の倒産  
など交通網が瓦解  
(ヴァージン・オーストラリア航空)

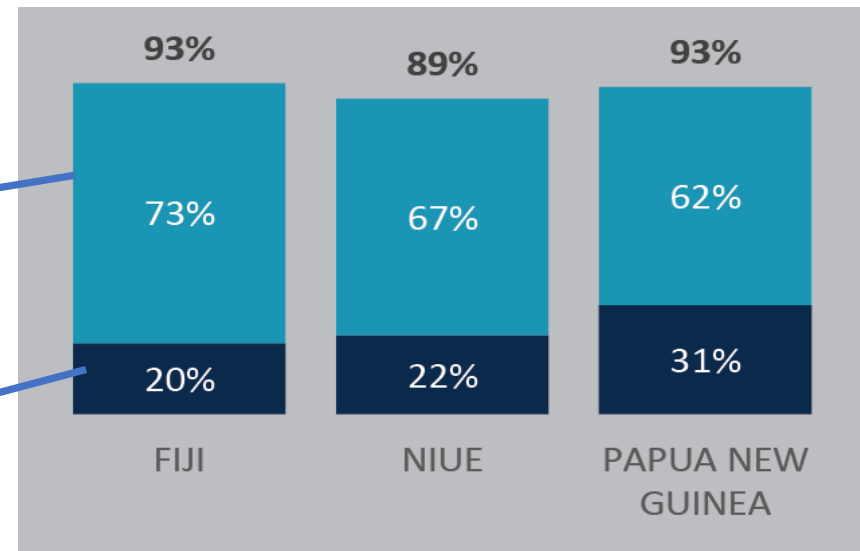


# 民間企業への調査結果から見る COVID-19の影響

Q1. 「COVID-19は各企業への悪影響を与えるか」



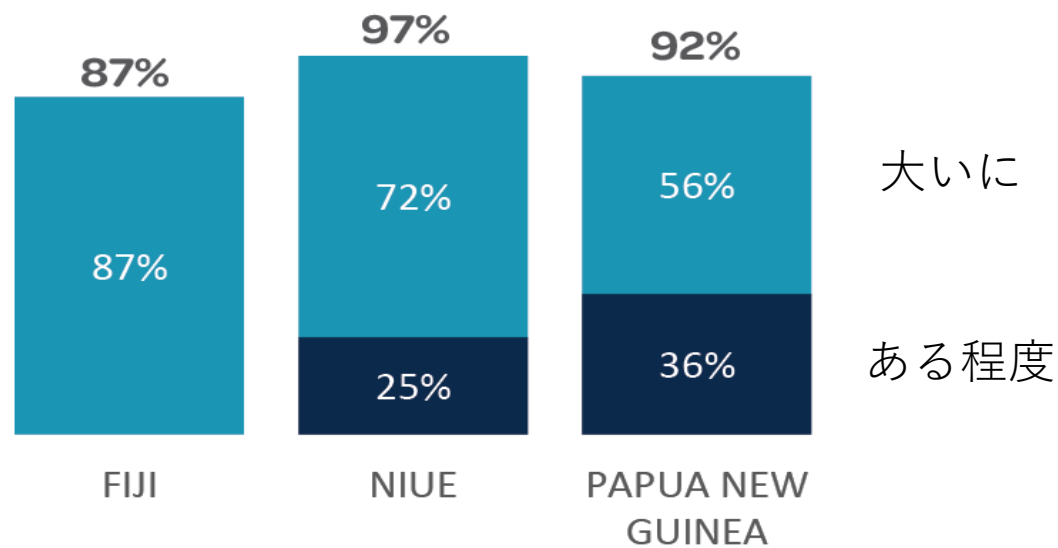
Q2. 「COVID-19が各企業の売りに上げに悪影響を与えるか」



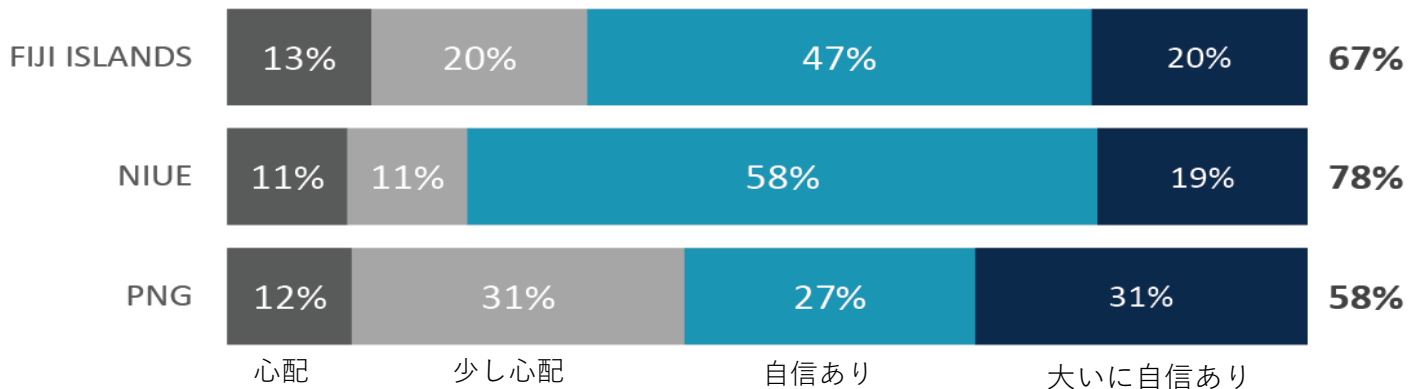
注：PT&Iネットワークが6月第1週に各国の企業に対して行ったアンケート調査

# 民間企業への調査結果から見る COVID-19の影響

Q3. 「COVID-19はローカル経済への悪影響を与えているか」



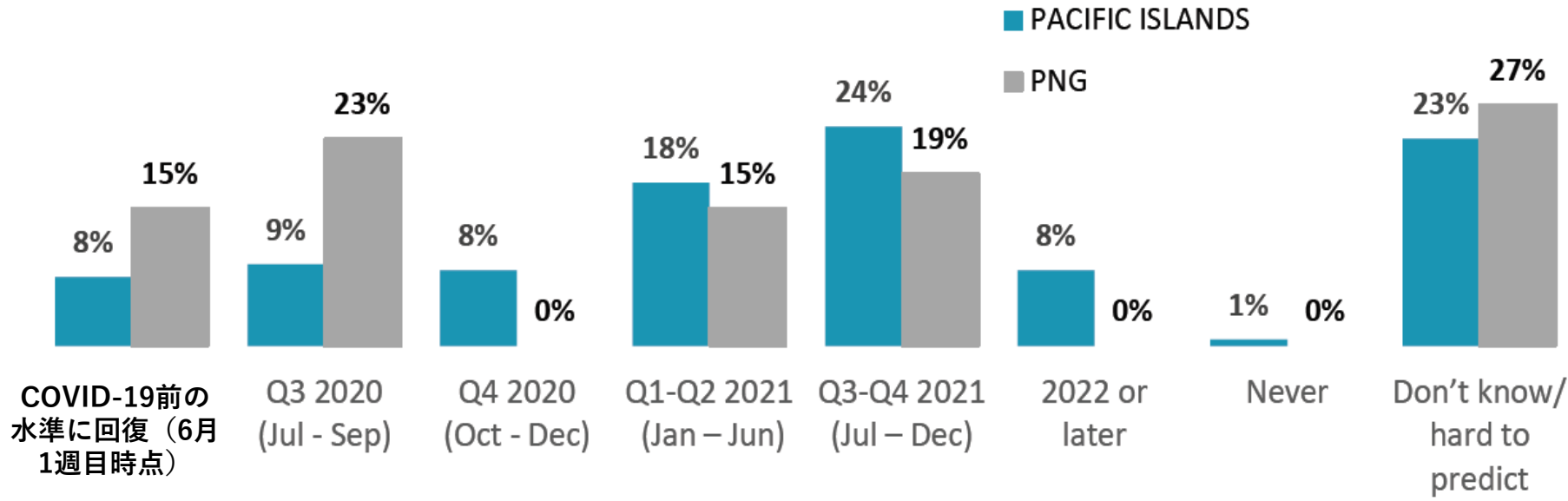
Q4. 「COVID-19後も自分の会社は生き残っていく自信があるか」





# 民間企業への調査結果から見る COVID-19の影響

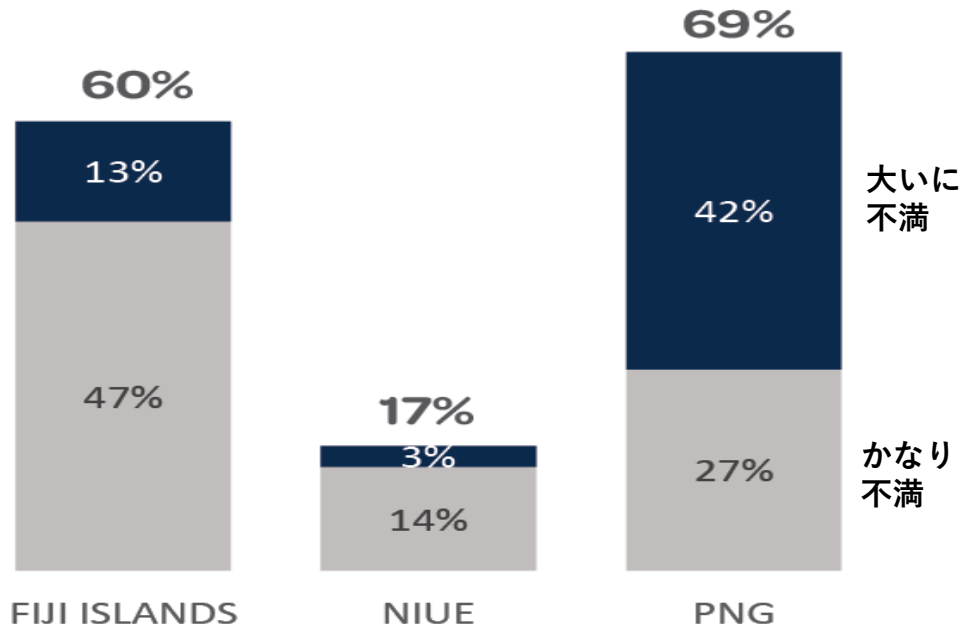
Q5.COVID-19前の状況に売り上げが戻るのはいつごろと予想しているか？



「PNGの企業は他の太平洋諸国と比べて比較的早い段階での回復を予想している」

# 民間企業への調査結果から見る COVID-19の影響

Q6.COVID-19によるビジネスへの悪影響に対する政府の支援への満足度？



政府はCOVID-19に対する様々な刺激策を打つと語ってはいるが、実際のビジネスには影響が出ていない



(PNGの中小企業経営者の声から)<sup>10</sup>

# COVID-19に対するPNGの影響（まとめ）

- いち早く国境を閉鎖するなど外国からの訪問者や貿易を閉じた太平洋諸島（過去の歴史からくるトラウマなどの影響）⇒フィジーとパプアニューギニア以外の独立国からはCOVID-19感染者は確認されていない。
- ただし、観光を中心とした経済活動は大きな打撃。豪州のヴァージン・オーストラリア航空の経営破綻やフィジーエアウェイズやニューギニア航空の外国便の停止・休止の影響で、物資の入手すら停滞。各国のGDPの国内経済やGDPに深刻な影響は必至。
- その中で太平洋諸島地域では数少ない資源大国であるPNGは、相対的に経済活動停滞に与える影響は少ない。COVID-19の対策にもよるが2021年には経済成長がプラスに転ずるというデータも見られる。
- （新型コロナウイルスの拡大による不確実性はあるが、）近年の豪州やニュージーランドからの支援の拡大や、中国の経済支援・ビジネス面での進出が進展・拡大することが予測される。

# 2. PNGの基本情報

## Papua New Guinea





# 内政～政権交代なるも安定した議会運営



## 1 安定した国内運営を続けたオニール政権

- 2011年8月、「建国の父」と呼ばれたソマレ首相が病氣療養中に野党と一部与党が協力して、人民国民会議党を率いるオニール氏が首相に任命される。
- オニール政権はビジネスを促進することを中心に考え、ソマレ前政権下では緊張関係にあった豪州との関係を改善。また新たなビジネスパートナーとしてアジア地域との関係向上を進める。特に日本、中国、東南アジア諸国との関係に力を注ぐ。特に2014年より輸出を開始したLNGの影響もあり、輸出相手国である日本と中国との外交関係も良好。
- 好調な経済の影響も受け、2012年及び2017年の総選挙に勝利。国会内でも安定した議席を獲得。

【参考】PNG議会：1院制，任期5年，111議席（89の小選挙区＋22州知事（首都特別区を含む。）。※州知事は国会議員を兼務）

## 2 オニール政権からマラペ政権へ

- 2019年4月末頃から、オニール首相に不満を持つ閣僚を含む国会議員の与党からの離脱や内閣不信任案の提出等により、内政状況が不安定化した。
- 5月下旬、更に多数の国会議員が与党を離脱したことを受け、オニール首相が辞任を表明、首相選出の投票が行われ、マラペ前金融相が首相に選出された。
- マラペ政権樹立後は、議会内でも安定多数を維持、安定した政権運営を実施。2022年に予定されている次期総選挙で政権運営を安定させる議席を与党が獲得できるかがポイント。



# 外交～太平洋とアジアを結ぶ懸け橋



## 1 豪州との深い関係

- 旧宗主国・国連信託統治領時代の施政権者
- 最大の貿易相手国(輸出・輸入共に1位)／最大の援助国(特にパシフィック・ステップアップ政策の下、PNGへの支援を拡大)

## 2 中国のプレゼンス拡大

- 中国・太平洋島嶼国経済開発協力フォーラムの開催(2006年に第1回, 2013年に第2回)
- 活発な経済援助等による政治・経済面の関係／中国人・企業のやり方は、地元にも利益を還元していないとして、中国人への反発が高まっている地域も見られる。

## 3 ASEANとの関係強化

- ASEAN加盟を目指し、ASEAN諸国との外交関係の強化を推進(オブザーバー参加)。
- インドネシアとの間は国境を接しているため、外交・軍事面での関係も深い。他方、インドネシア側の西パプア州に住むメラネシア系の独立運動に対して微妙な関係を維持している。

## 4 地域的枠組みへの積極的関与

- 太平洋諸島フォーラム(PIF)加盟国。太平洋島嶼国のリーダーとして強い発言力を有する。
- メラネシア先鋒グループ(MSG: Melanesia Spearhead Group: PNG, フィジー, バヌアツ, ソロモン諸島, ニューカレドニアで構成)のメンバー
- APEC加盟国。2018年には太平洋島嶼国で初めて議長を務める
- アフリカ・カリブ・太平洋グループ(ACP: African, Caribbean, and Pacific Group of State)メンバー



# 経済～高い成長率が持続していたが～



## 1 主要産業～多様な資源～

- 主要産業(対GDP比):農林水産業28%, 鉱業14%
- 主要輸出品目(対総輸出額比):金, 銅, 天然ガス, 原油, パーム油, 木材, 魚介類, コーヒー等

## 2 経済成長率(世銀統計)

- 0.4%(2018年)

## 3 一人当たりGNI(世銀統計)

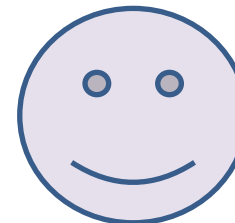
- 2530米ドル(2018年)

## 4 総貿易額(ADB統計)

- 輸出:2010年(9,888百万米ドル), 2012年(12,249百万米ドル), 2018年(7,221百万米ドル)
- 輸入:2010年(5,021百万米ドル), 2012年(8,944百万米ドル), 2018年(5,350百万米ドル)

## 5 主要貿易相手国

- 輸出:豪州, 日本, 中国
- 輸入:豪州, シンガポール, マレーシア, 中国, 日本



外資の進出を政府を  
あげて期待している

※2014年6月には, LNGの輸出が開始され経済成長を牽引することが期待されたが, 2015年には石油や鉱物の国際商品価格の下落, 干ばつ被害などの影響を受け, 期待されたほどの経済成長は実現できていない。インフラ整備や教育・医療の無償化などを推進するなど, 目に見える形で国民が利益を感じられるような政策を進めている。



# 日本との関係～関係強化が進展～



## 1 二国間関係

- 1975年9月のPNG独立と同時に外交関係樹立(同年12月に在PNG日本大使館設置)
- 太平洋・島サミット(1997年～, 3年に1回。日本主催)には, 第1回から参加。
- 貿易額: PNGへの輸出(163億円), PNGからの輸入(2,569億円)(2017年財務省貿易統計)
- 2014年1月, 日PNG投資協定発効。
- 豪州、NZに次ぐ第3位の援助国: 21百万ドル(2017年OECD・DAC統計)
- 駐在日本企業数: 11社(2017年外務省調査)
- 在留邦人数: 182名(2017年外務省調査)
- 在日PNG人数: 71名(2018年法務省在留外国人統計)

## 2 主な要人往来(首脳級を中心に)

(往)

1980年 大平総理大臣, 大来外務大臣  
 1985年 中曽根総理大臣, 安倍外務大臣  
 1987年 倉成外務大臣  
 2013年12月 三ツ矢外務副大臣  
 2014年7月 安倍総理大臣(29年ぶり)  
 2018年9月 田中内閣府副大臣  
 2018年11月 安倍総理大臣、河野外務大臣  
 (APEC)


(来)


2009年5月 ソマレ首相(第5回太平洋・島サミット)  
 2010年3月 ソマレ首相(公式実務訪問賓客)  
 2013年3月 オニール首相(実務訪問賓客)  
 2013年10月 パト外相(島サミット第2回中間閣僚会合)  
 2014年6月 オニール首相  
 2015年5月 オニール首相(第7回太平洋・島サミット)  
 2016年1月 パト外相(島サミット第3回中間閣僚会合)  
 2018年5月 オニール首相(第8回太平洋・島サミット)



# (参考) 日本パプアニューギニア投資協定

## 日・PNG投資協定の経緯・背景

PNG  : 外国投資を積極的に誘致。日本からの直接投資の促進に対する強い期待感。

日本  : 近年、PNGにおける天然ガスの本格的開発を背景に対PNG投資に対する関心が高まる。

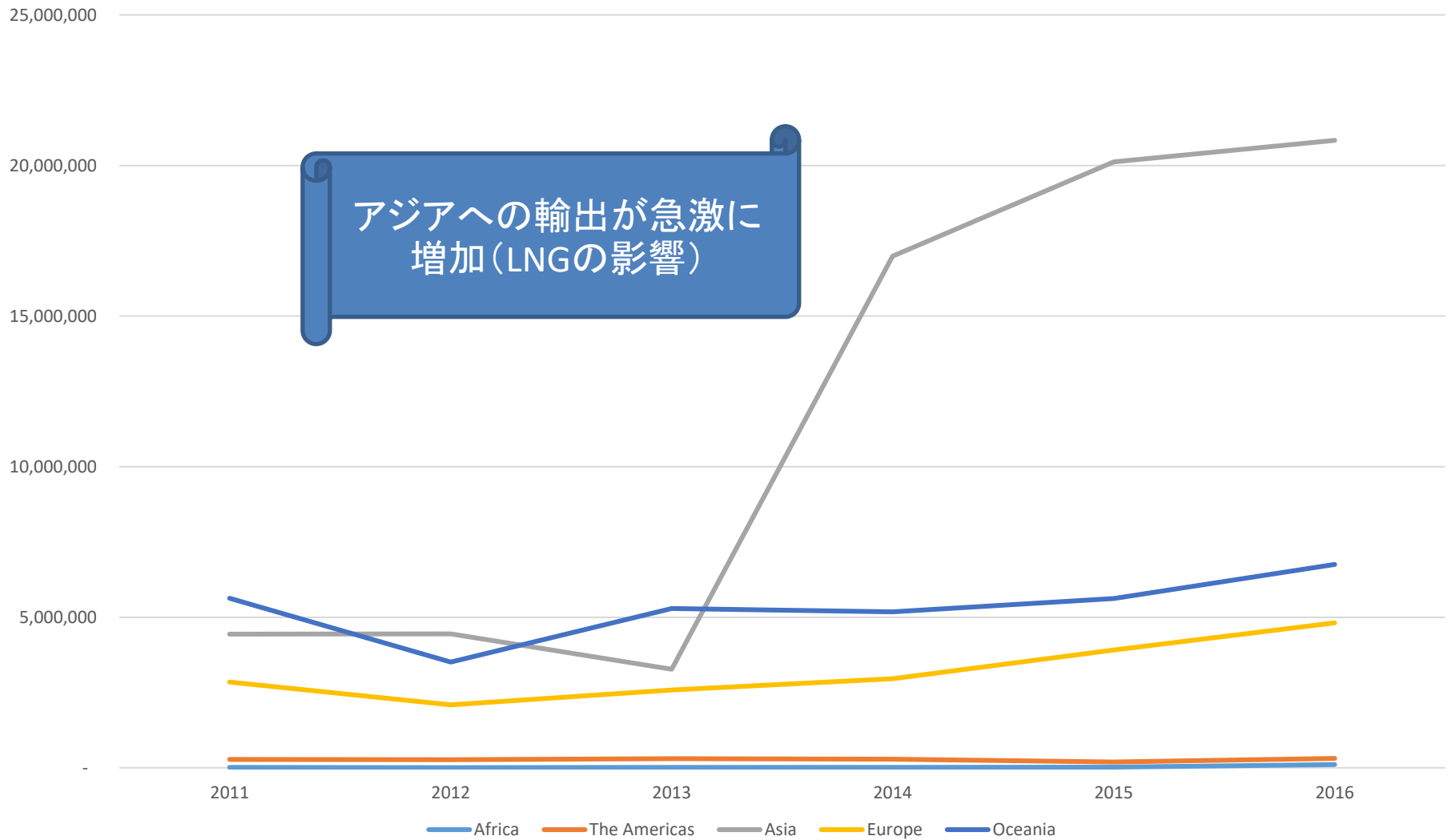
2010年3月、ソマレ首相の来日時  
の首脳会談において、交渉開始に合意。

- ◆ 2回の政府間交渉を経て、2011年4月26日、松本外務大臣とポリエ外務貿易移民大臣との間で署名。
- ◆ 2012年5月26日、PNG議会で承認。2013年11月22日、我が国国会で承認。
- ◆ 2014年1月17日、効力発生。

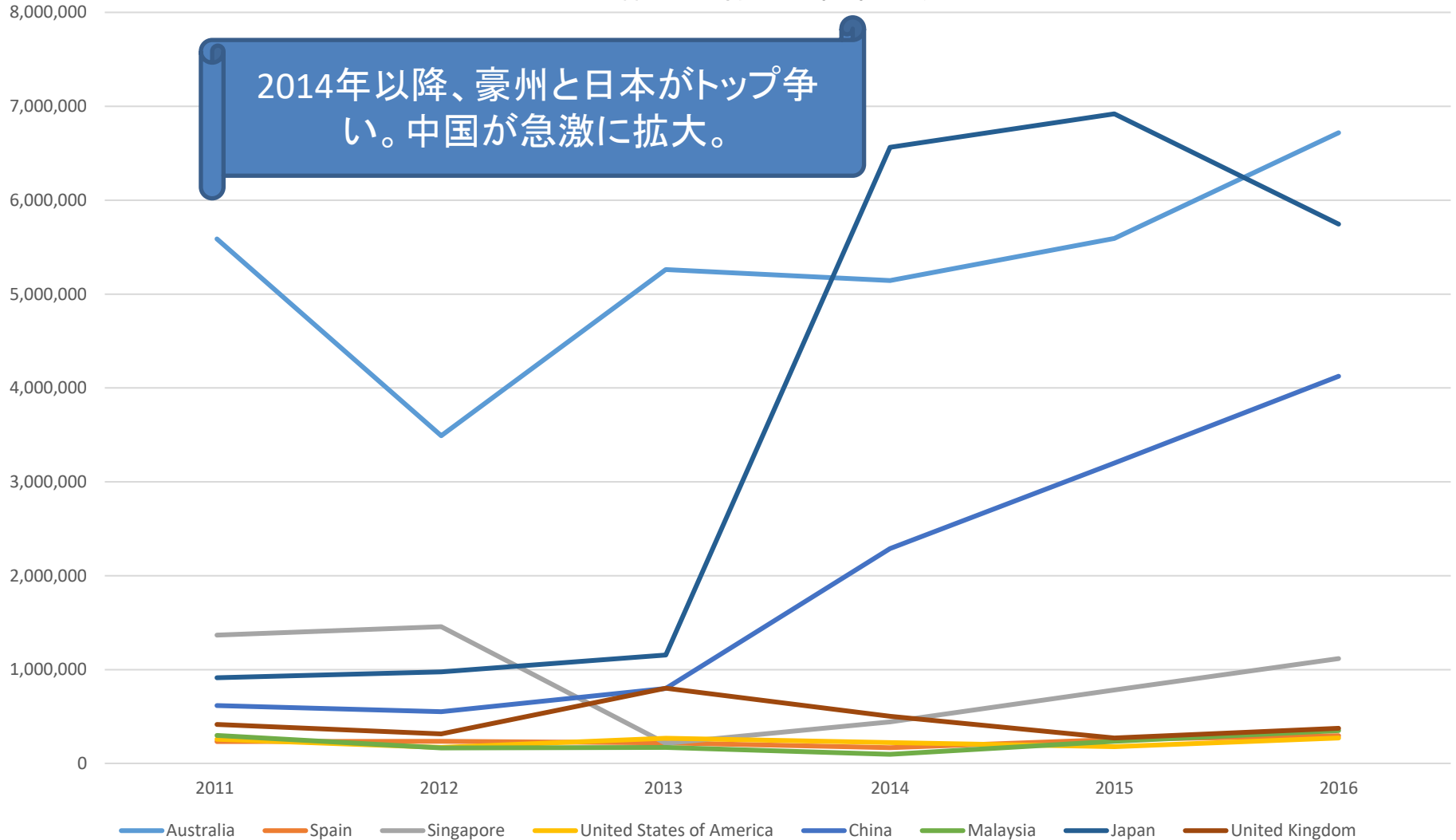
# 3. データから見た近年のPNG貿易の特徴



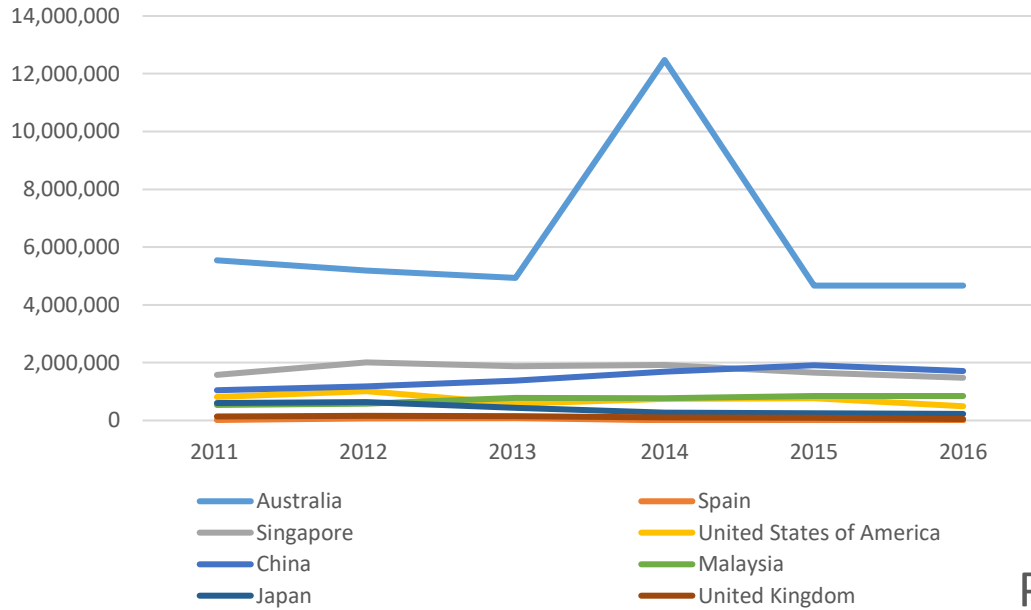
## PNGの地域別輸出額の変遷



## PNGの輸出相手国の変遷

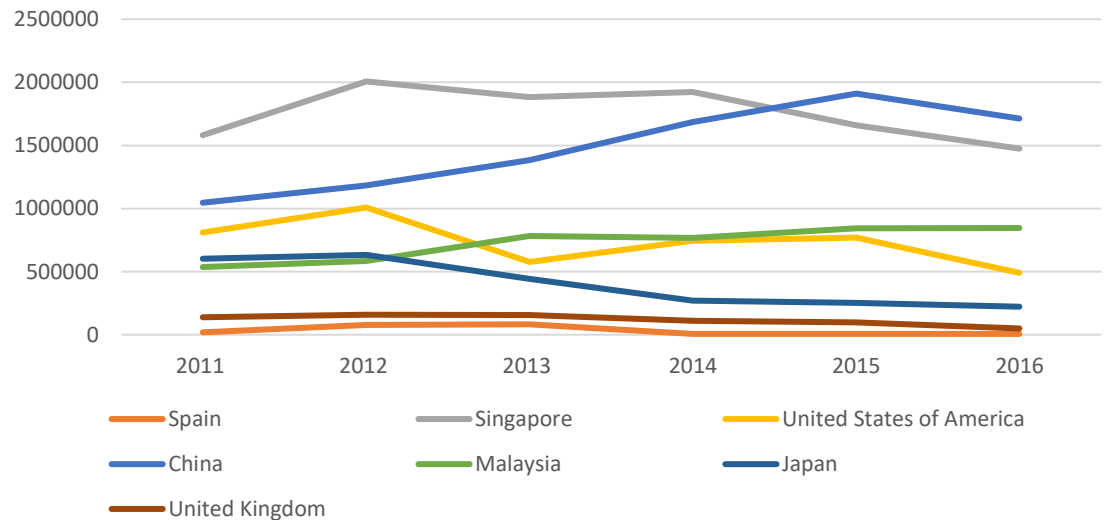


# PNGの輸入相手国の変遷グラフ

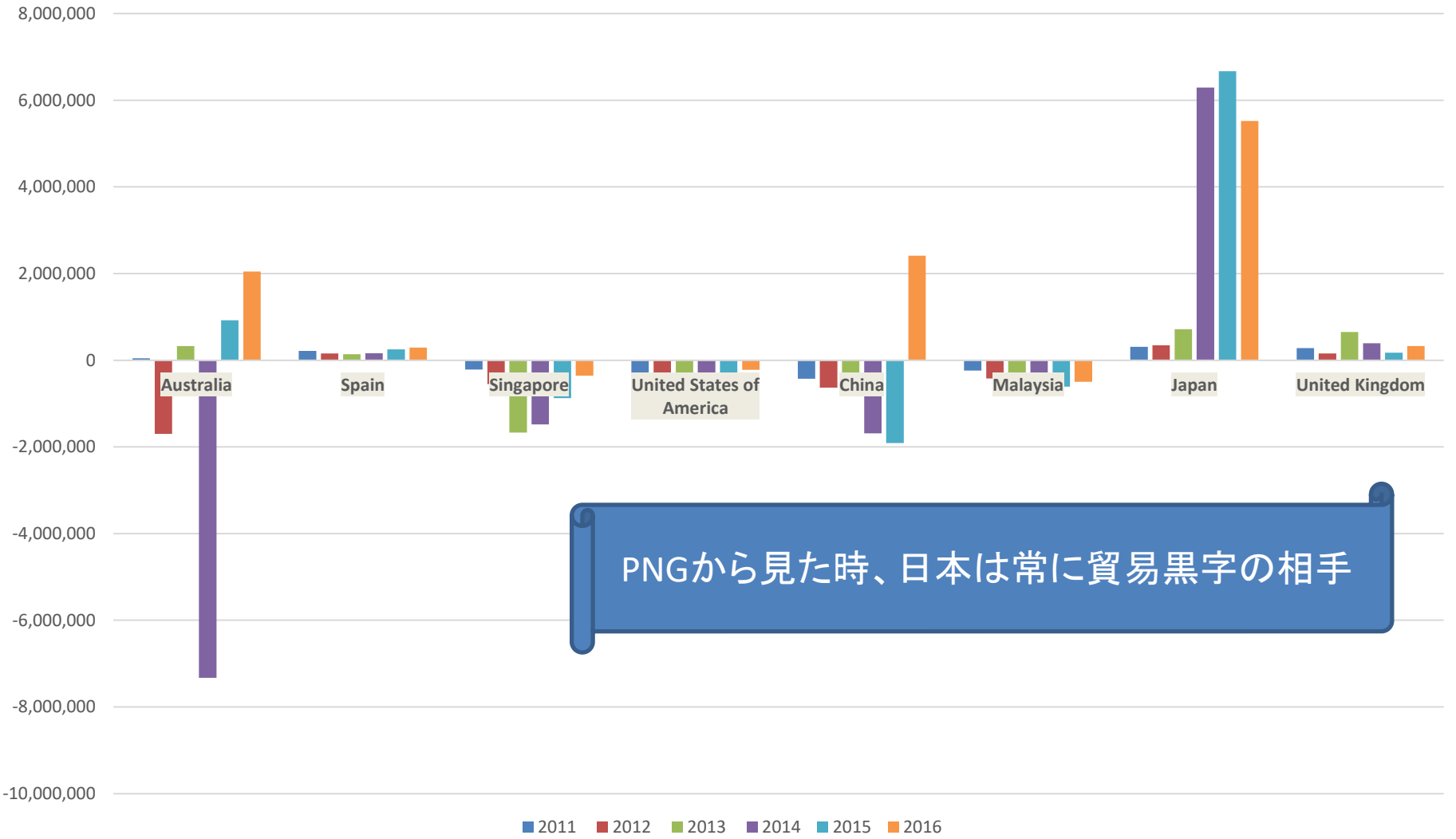


豪州が最大の輸入相手国。中国とシンガポールと2~3倍の差

## PNGの輸入相手国の変遷グラフ（豪州抜き）

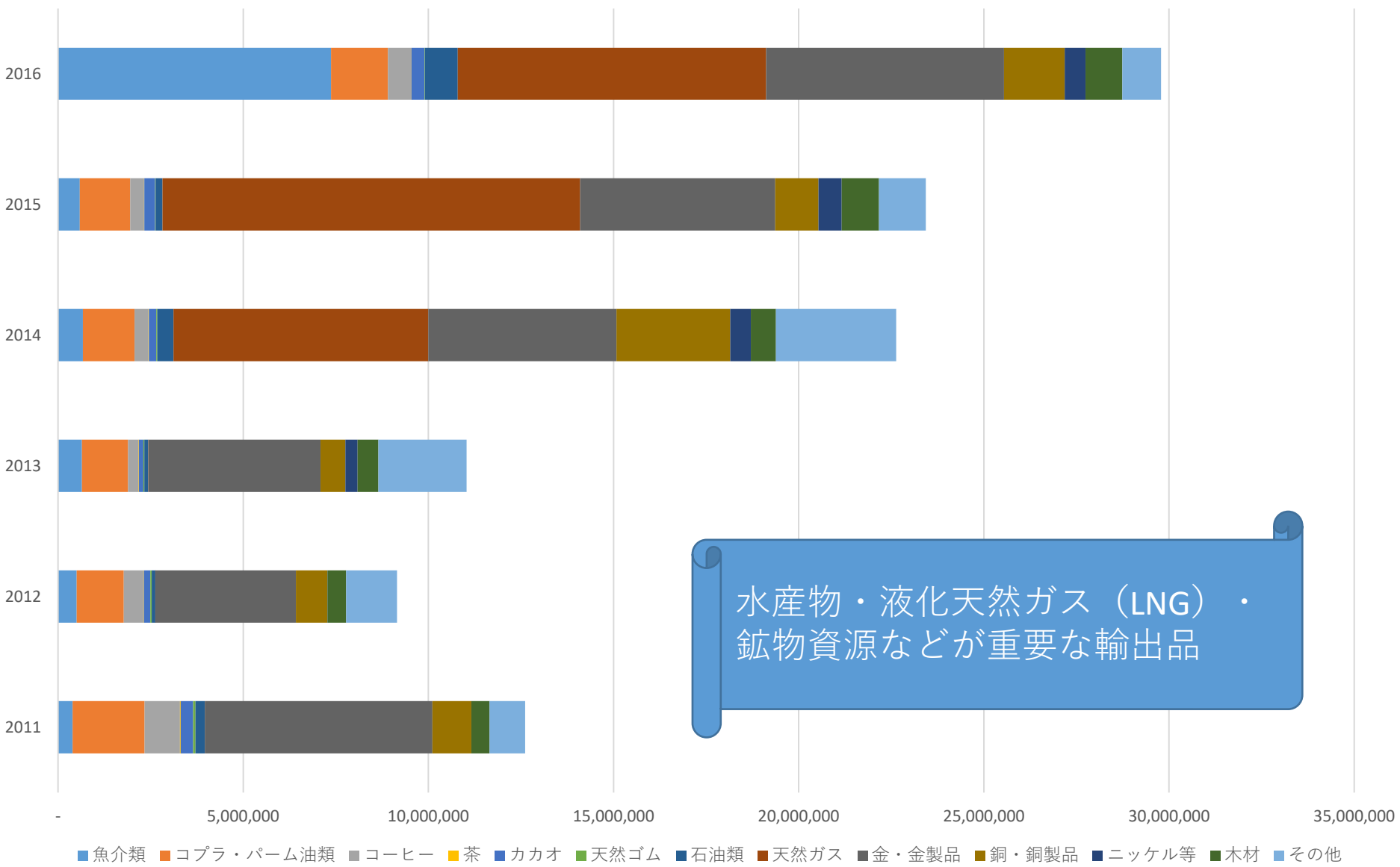


# PNGの貿易相手国とのバランス



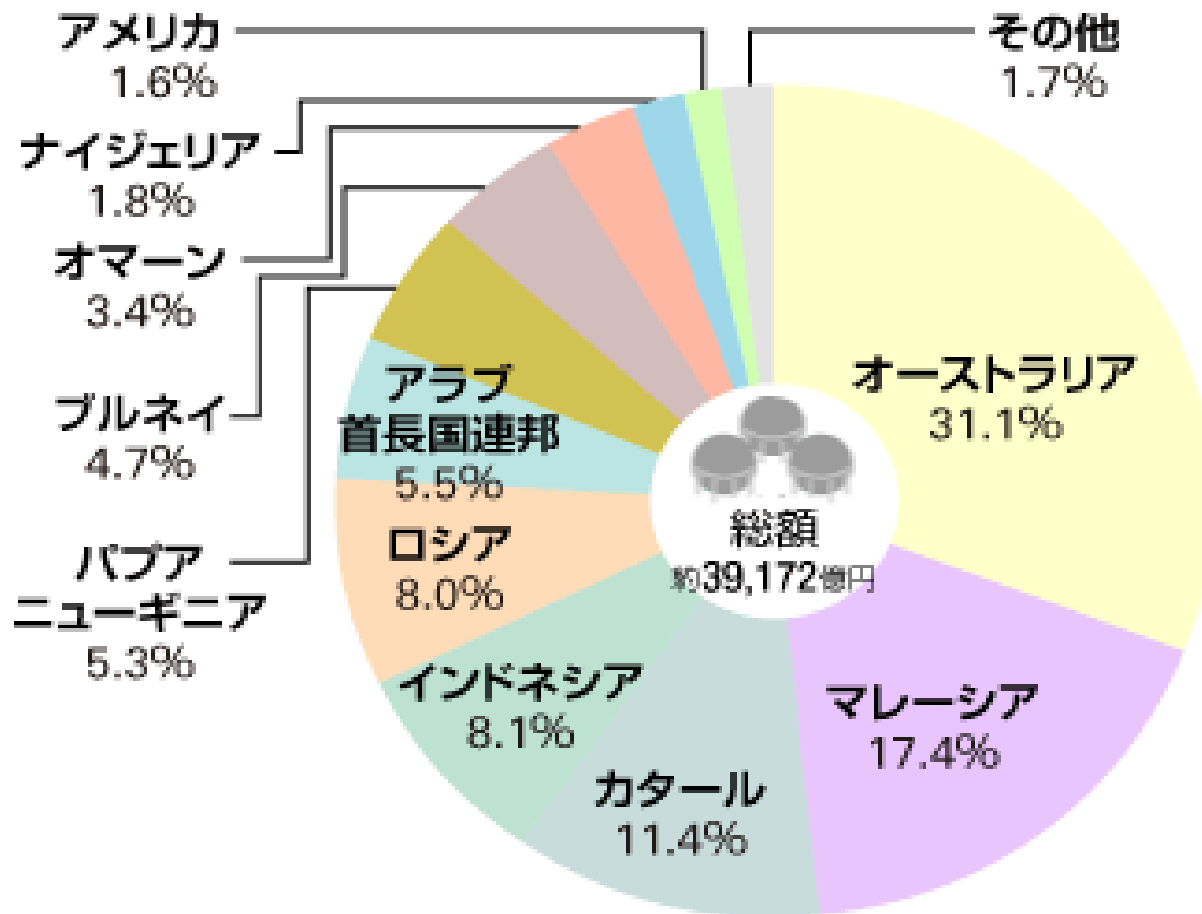
PNGから見た時、日本は常に貿易黒字の相手

# PNGからの年別輸出品の構成図



水産物・液化天然ガス（LNG）・  
鉱物資源などが重要な輸出品

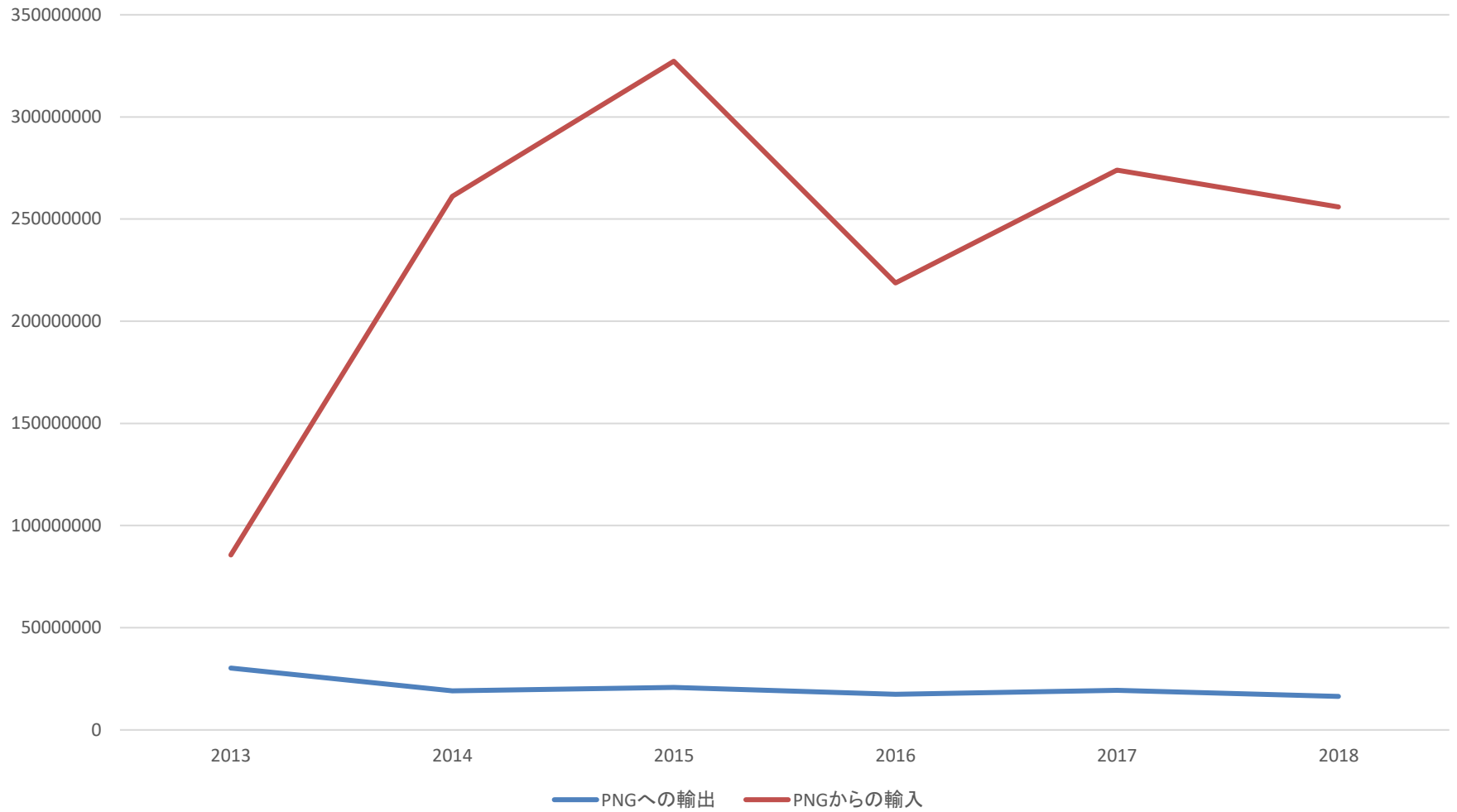
# 4. データからみた日PNG貿易の特徴



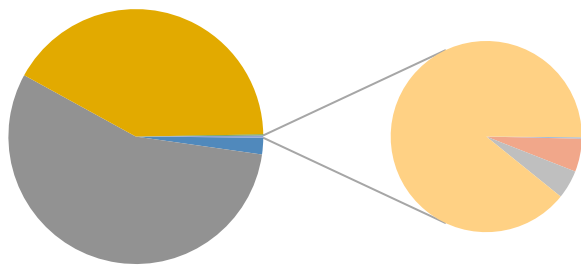
【LNG(液化天然ガス)】(2017年)



## 日本とPNGの間の貿易



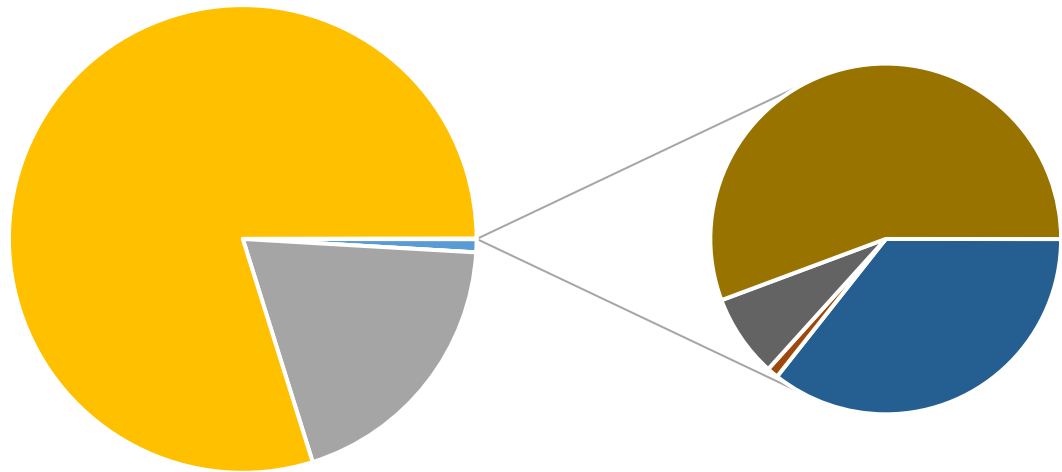
## PNGから日本への輸出品の割合（2013年）



- 食料品及び動物
- 飲料及びたばこ
- 原材料
- 鉱物性燃料
- 動植物性油脂
- 化学製品
- 原料別製品
- 機械類及び輸送用機器
- 雑製品
- 特殊取扱品

LNGの輸出開始により、全輸出額の80%を占める状況

## PNGから日本への輸出品の割合（2018年）



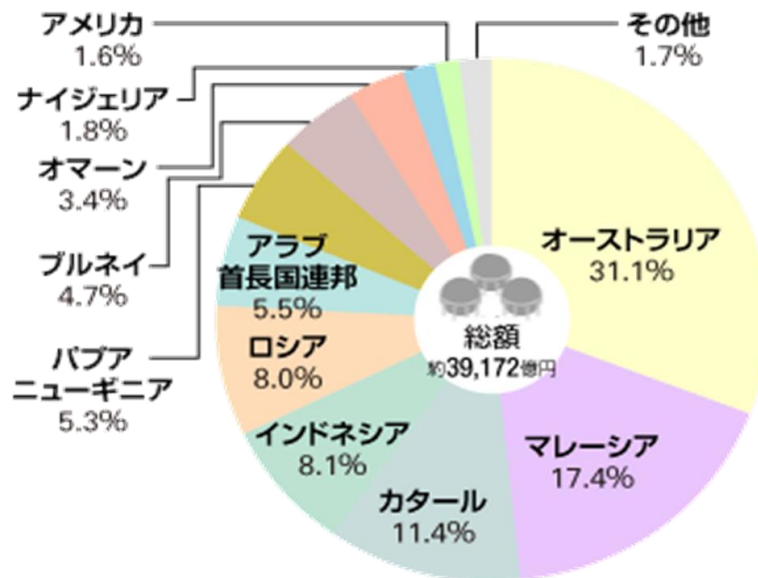
- 食料品及び動物
- 飲料及びたばこ
- 原材料
- 鉱物性燃料
- 動植物性油脂
- 化学製品
- 原料別製品
- 機械類及び輸送用機器
- 雑製品
- 特殊取扱品

⑬ Liquefied Natural Gas(LNG): Top Nine Exporters to Japan (2015~2018)

(液化天然ガス(LNG) 輸入先上位国、2015年~2018年)

	世界 World	オーストラリア Australia	マレーシア Malaysia	カタール Qatar	ロシア Russia	アラブ首長国連邦 UAE	インドネシア Indonesia	ブルネイ Brunei	パプアニューギニア PNG	オマーン Oman
<b>2015年</b>										
順位(Ranking)		1	2	3	4	6	5	8	9	10
1000円	5,514,120,576	1,179,632,639	1,046,544,208	974,316,761	474,362,035	340,431,921	397,862,446	276,782,606	262,080,765	117,912,119
KG	85,044,303	18,617,407	15,571,021	14,644,420	7,570,923	5,435,604	5,846,823	4,231,066	4,059,014	2,261,794
単価(Unit Price/KG)	¥64.84	¥63.36	¥67.21	¥66.53	¥62.66	¥62.63	¥68.05	¥65.42	¥64.57	¥52.13
<b>2016年</b>										
順位(Ranking)		1	2	3	5	6	4	7	8	9
1000円	3,281,622,171	920,278,638	593,530,605	434,076,353	271,559,041	185,485,481	282,316,084	176,059,217	168,716,147	111,630,223
KG	83,339,830	22,416,625	15,493,378	12,118,016	7,314,695	4,987,259	6,696,807	4,216,861	4,206,175	2,528,835
単価(Unit Price/KG)	¥39.38	¥41.05	¥38.31	¥35.82	¥37.13	¥37.19	¥42.16	¥41.75	¥40.11	¥44.14
<b>2017年</b>										
順位(Ranking)		1	2	3	5	6	4	8	7	9
1000円	3,917,267,800	1,218,825,803	680,714,866	447,659,007	311,546,460	217,277,986	317,849,167	185,628,251	206,612,194	132,713,985
KG	83,631,844	25,674,726	14,805,583	10,134,237	7,261,885	4,682,937	6,514,550	3,732,556	4,233,824	2,774,579
単価(Unit Price/KG)	¥46.84	¥47.47	¥45.98	¥44.17	¥42.90	¥46.40	¥48.79	¥49.73	¥48.80	¥47.83
<b>2018年</b>										
順位(Ranking)		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1000円	4,738,938,853	1,677,796,188	610,577,314	569,627,123	358,032,241	298,172,461	294,873,419	249,838,668	190,203,941	160,140,938
KG	82,852,169	28,702,344	11,265,533	9,922,935	6,673,244	4,976,631	5,132,676	4,182,266	3,143,896	3,075,790
単価(Unit Price/KG)	¥57.20	¥58.46	¥54.20	¥57.41	¥53.65	¥59.91	¥57.45	¥59.74	¥60.50	¥52.06

日本にとって地政学的にも最も安全なLNGの輸入相手国の一つ



【LNG(液化天然ガス)】(2017年)

⑫Vanilla Beans: Top Six Exporters to Japan (2015~2018)  
 (日本のバニラビーンズ輸入先上位国、2015年~2018年)

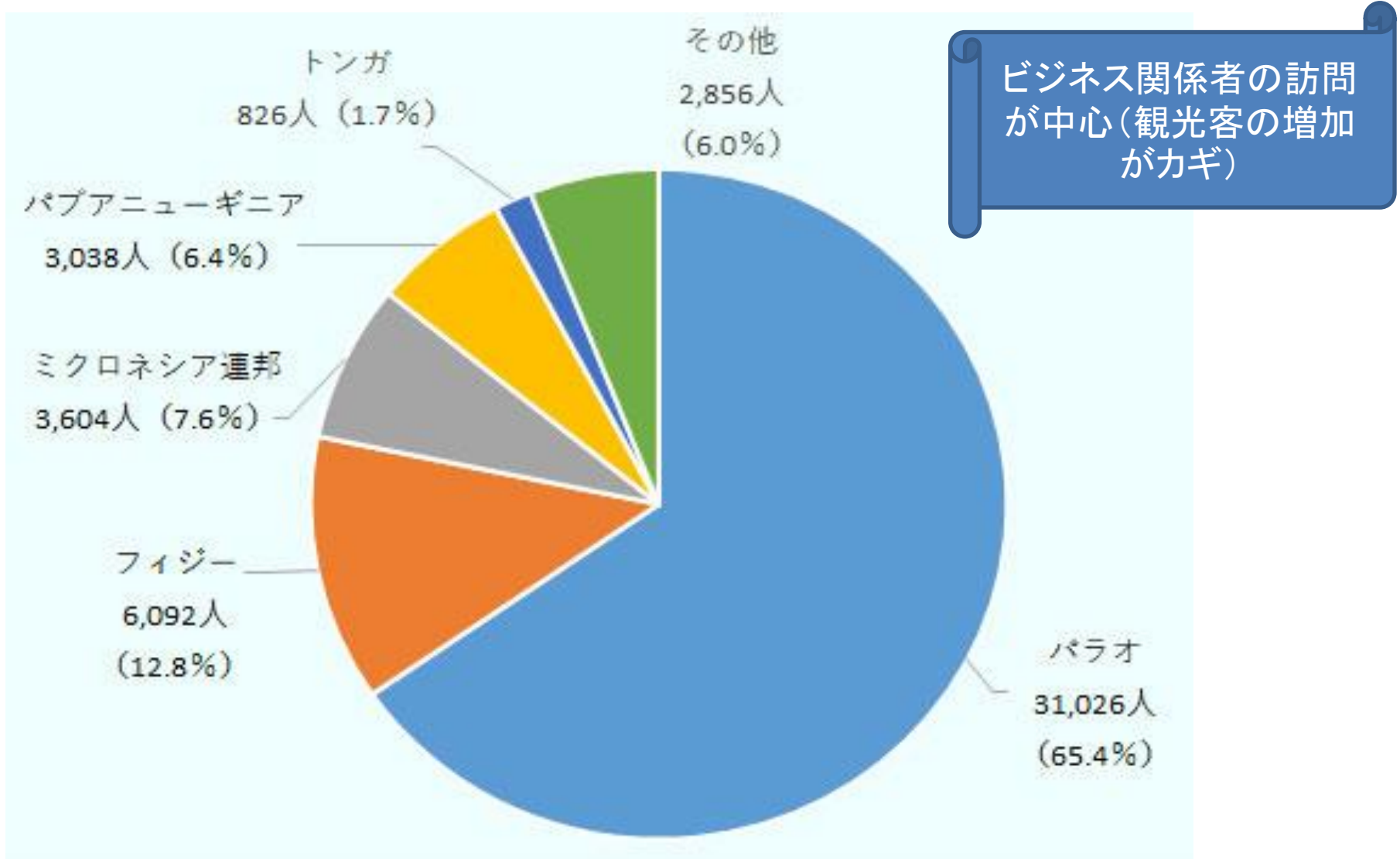
	世界 World	マダガスカル Madagascar	コモロ Comores	ウガンダ Uganda	仏領ポリネシア French Polynesia	フランス France	バブアニューギニア PNG	インドネシア Indonesia	米国 USA
2015年									
順位(Ranking)		1	なし None	6	2	3	5	なし None	なし None
1000円	1,513,572	1,451,509		3,205	24,617	22,255	3,359		
KG	123,481	120,175		242	784	960	560		
単価(Unit Price/KG)	¥12,258	¥12,078		¥13,244	¥31,399	¥23,182	¥5,998		
2016年									
順位(Ranking)		1	なし None	11	3	5	2	8	6
1000円	1,314,842	1,197,733		1,491	25,187	17,335	26,653	2,601	15,123
KG	52,767	48,177		80	630	518	1,802	75	510
単価(Unit Price/KG)	¥24,918	¥24,861		¥18,638	¥39,979	¥33,465	¥14,791	¥34,680	¥29,653
2017年									
順位(Ranking)		1	10	5	4	6	7	3	2
1000円	3,869,567	3,565,546		14,626	26,712	13,693	13,143	48,301	168,344
KG	64,419	59,509		320	339	368	600	810	1,725
単価(Unit Price/KG)	¥60,069	¥59,916	#DIV/0!	¥45,706	¥78,796	¥37,209	¥21,905	¥59,631	¥97,591
2018年									
順位(Ranking)		1	2	3	4	5	6	7	8
1000円	4115364	3,890,610	115,257	44,110	30,179	15,231	11,251	5,991	2,157
KG	64266	60,593	1,504	765	371	220	599	116	88
単価(Unit Price/KG)	¥64,036	¥64,209	¥76,634	¥57,660	¥81,345	¥69,232	¥18,783	¥51,647	¥24,511

太平洋諸島では比較的量も生産できるが、他地域との間で差別化できる嗜好品は有力産品

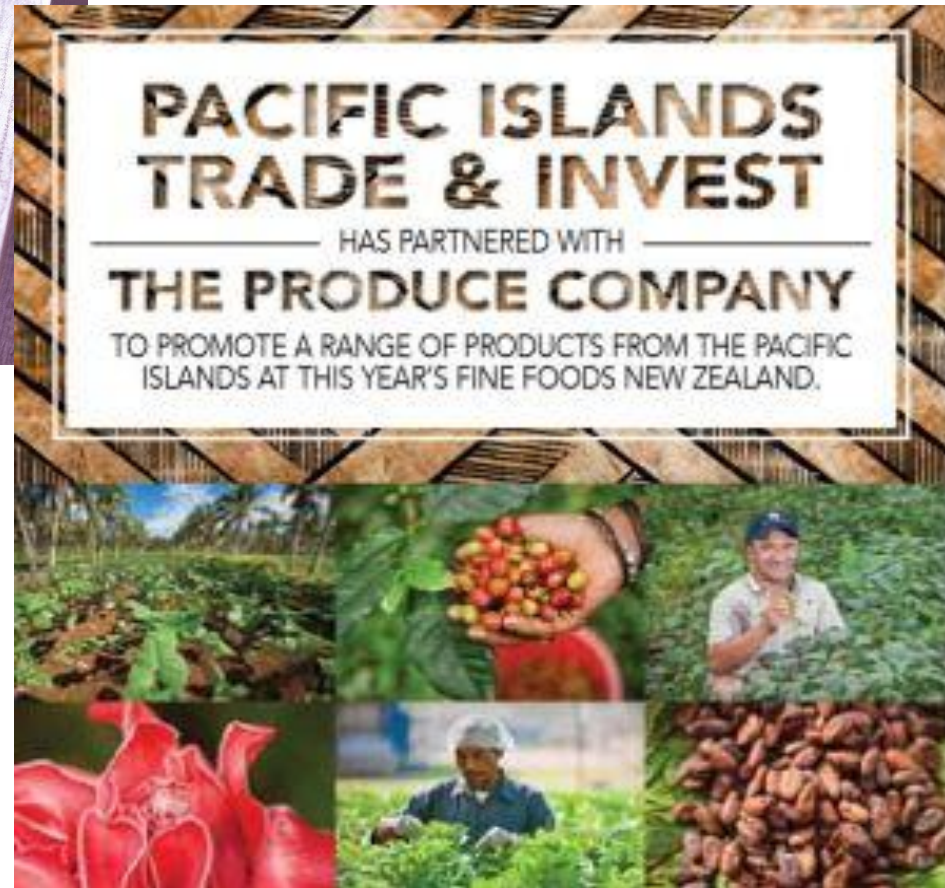
⑬Coffee: Top Seven Exporters to Japan (2015~2018)  
 (日本のコーヒー輸入先上位国、2015年~2018年)

	世界 World	ブラジル Brazil	コロンビア Colombia	ベトナム Vietnam	インドネシア Indonesia	グアテマラ Guatemala	エチオピア Ethiopia	タンザニア Tanzania	バブアニューギニア PNG
2015年									
順位(Ranking)		1	2	3	5	4	6	7	12
1000円	178,670,950	60,724,327	35,770,578	18,822,673	13,441,358	17,040,778	8,875,005	5,008,086	1,575,707
KG	433,234,572	139,980,071	77,546,732	80,967,518	41,350,002	31,891,266	19,030,380	11,076,587	3,218,753
単価(Unit Price/KG)	¥412	¥434	¥461	¥232	¥325	¥534	¥466	¥452	¥490
2016年									
順位(Ranking)		1	2	3	5	4	6	7	14
1000円	142,121,249	46,958,963	24,615,179	19,379,149	9,426,898	16,238,549	6,602,218	4,310,066	948,130
KG	432,591,638	137,059,469	66,121,068	98,797,990	34,794,914	37,022,152	18,487,746	12,435,527	2,287,706
単価(Unit Price/KG)	¥329	¥343	¥372	¥196	¥271	¥439	¥357	¥347	¥414
2017年									
順位(Ranking)		1	2	3	6	4	5	7	18
1000円	147,837,385	42,479,184	29,921,299	22,213,471	10,256,400	13,805,068	10,428,639	3,370,099	653,383
KG	403,954,472	117,236,733	71,338,838	88,081,201	31,654,878	29,994,701	27,481,511	8,326,398	1,521,501
単価(Unit Price/KG)	¥366	¥362	¥419	¥252	¥324	¥460	¥379	¥405	¥429
2018年									
順位(Ranking)		1	2	3	4	5	6	7	19
1000円	126,569,824	35,479,175	22,854,130	20,552,045	9,696,931	9,524,671	9,000,917	5,371,704	213,105
KG	399,041,742	111,452,987	63,269,734	98,188,365	30,344,490	24,072,385	26,573,940	15,475,132	486,133
単価(Unit Price/KG)	¥317	¥318	¥361	¥209	¥320	¥396	¥339	¥347	¥438

## 太平洋諸島14カ国への日本人訪問者数(2015年)(総数:47,442人)



# 5. 日PNGビジネスの新たな促進への可能性



# テレワークビジネスの進展＝距離の 弱点を乗り越えられる可能性



海底ケーブル網や国内での携帯電話網の普及で、もうグローバル社会の周縁として取り残された社会でなくなるかもしれない。



でもまだ商談は完全にリモートでは心配だなあ

# PT & Iを媒介にした東京・シドニーネットワーク・ビジネスの可能性

The background features a map of the Pacific region. A red line connects Tokyo, Japan (東京) at the top to Sydney, Australia (シドニー) at the bottom. The map includes labels for '中華人民共和国' (China), '大韓民国' (South Korea), '日本海' (Sea of Japan), '東シナ海' (East China Sea), 'ニューギニア' (New Guinea), and 'オーストラリア' (Australia). A red dot marks Tokyo, and another red dot marks Sydney. A red line connects them, passing through the Pacific Islands region.

**シドニーで太平洋諸島  
ビジネス企業とのセミナーの開催**

↓

**対面でのビジネス商談  
の可能性大(フォロー  
アップも確実)**

**PNGをはじめとした太平洋諸島の企業の支社が集まる街**

**PIC**  
Pacific Islands Centre

齋藤龍三 PIC  
所長

**Pacific Islands Trade & Invest**

Caleb Jarvis,  
Trade  
Commissioner,  
PT & I  
Australia

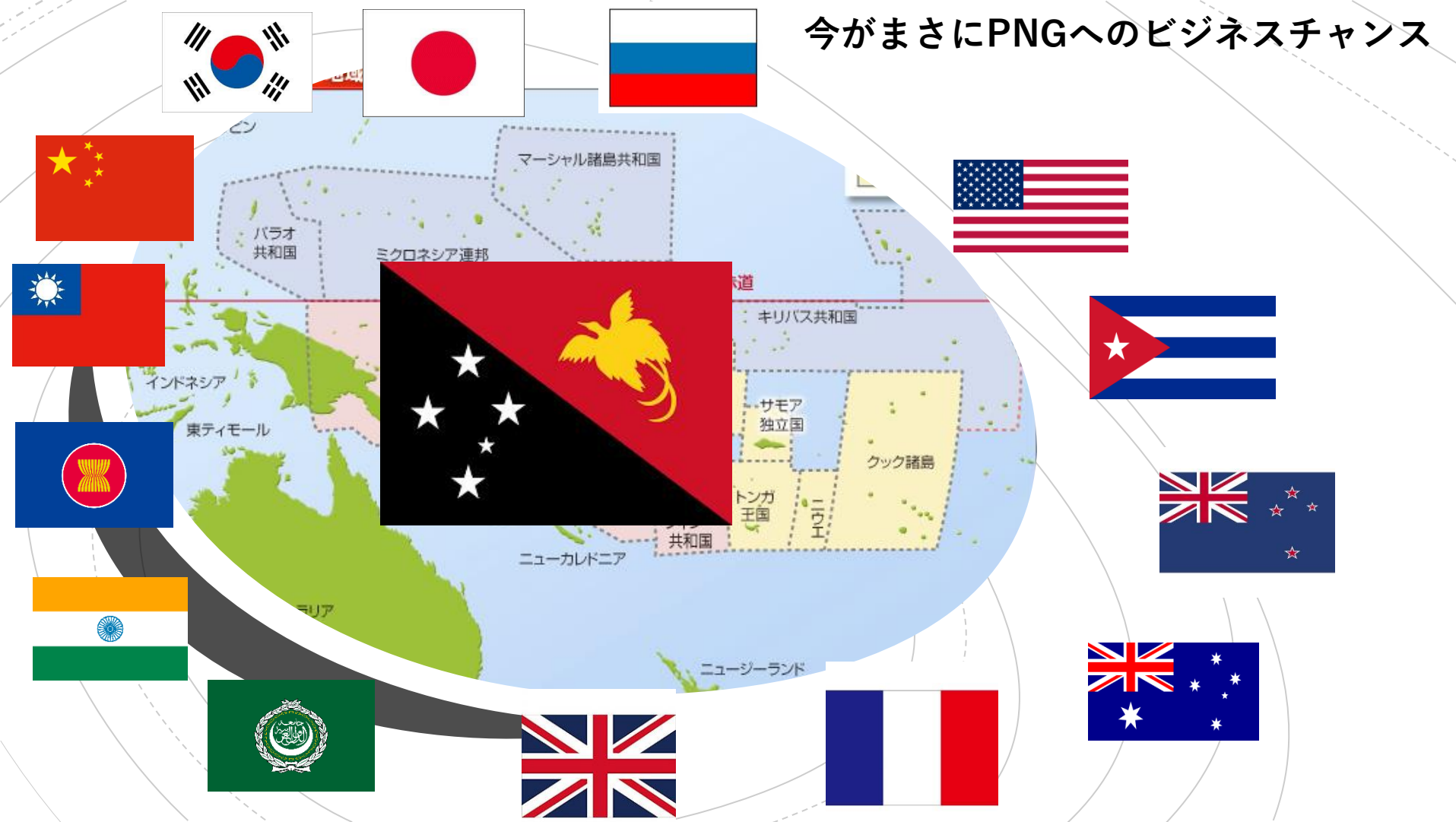
32



各国・地域が関心を向ける太平洋諸島



今がまさにPNGへのビジネスチャンス



ご清聴ありがとうございました